

(公財)ふるさと島根定住財団

(しまね県民活動支援センター)

<http://www.teiju.or.jp/>



2013
8 月号

お知らせ

県民活動応援サイト「島根いきいき広場」リニューアル説明会

参加無料

「島根いきいき広場」から 共感の輪を 広げるセミナー



ボランティアやNPO活動をはじめとする社会貢献活動への参加を応援する総合サイト「島根いきいき広場」は、登録をすると簡単な操作で自ら情報を掲載することができます。その「島根いきいき広場」が9月2日にリニューアルオープンすることにあわせ、登録の仕方や新たに追加された機能の活用方法の紹介のほか、インターネットを使った情報発信のノウハウやコツを学べるセミナーを開催します。

島根いきいき広場

検索

<https://www.shimane-ikiiki.jp/>



こんな方におすすめ!

★これからインターネットを使って情報発信をしたい!という方

「ホームページやブログを一からするのはちょっと…」という方も、操作は簡単!後日、個別相談も受けます。

★今以上に多くの人に情報発信したい!という方

イベント・講座の告知に加え、活動報告が掲載できるようになりました。また、CANPANや Facebook、Twitter などのSNSと連動し、広く情報を発信できるようになりました。

プログラム

インターネットを使った情報発信の状況や活用方法も伝授します!

■講義 (60分)

「よくわかる!

インターネットの情報発信」

- ・NPO が発信する情報の種類
- ・最近のソーシャルメディアや IT・Web 事情
- ・ネットを使った情報発信から収集まで

■「島根いきいき広場」活用術 (60分)

- ・リニューアルのポイント
- ・登録や具体的な活用の方法

■まとめ (30分)

<講師>

山田 泰久氏 (公財)日本財団

会場・開催日時

益 田

10/9 (水)

14:30~17:00

益田市総合福祉センター
1階 大集会室
(須子町 3-1)

浜 田

10/10 (木)

9:30~12:00

浜田市総合福祉センター
2階 研修室1
(野原町 859-1)

出 雲

10/10 (木)

14:30~17:00

出雲市社会福祉センター
4階 42研修室
(今市町 543)

雲 南

10/11 (金)

9:30~12:00

下熊谷交流センター
多目的ホール
(木次町下熊谷 1096-1)

松 江

10/11 (金)

14:00~16:30

いきいきプラザ島根
3階 301研修室
(東津田町 1741-3)

※ 対象:情報発信に興味がある方ならどなたでも

【お申込み・お問い合わせ: (公財)ふるさと島根定住財団 TEL 0852-28-0690】



助成金情報

平成26年度 花博記念協会助成金
期 ~9/17 (火)

1990年に大阪・鶴見緑地で開催された国際花と緑の博覧会の基本理念「自然と人間との共生」の継承発展・普及啓発につながる研究開発や諸活動を支援し、潤いのある豊かな社会の創造に寄与することを目的とした助成です。
対 公益法人(財団法人、社団法人など)、NPO法人、人格なき社団のうち非収益団体で代表者の定めがあるもの(研究グループ、実行委員会、活動クラブ、友の会、ボランティア団体など) 金 調査研究開発:1件あたり100万円以内 活動・行催事:1件あたり50万円以内

問 (公財)国際花と緑の博覧会協会 企画事業部第1課

Tel:06-6915-4516 URL:http://www.expo-cosmos.or.jp/

平成26年度
しまねいきいきファンド
期 ~11/29 (金)

中高年齢者グループによる健康・生きがいづくり、地域づくりに寄与する事業・活動の立ち上げ又は拡充を支援し、活力ある地域社会づくりを応援するための助成です。

【夢ファクトリー支援事業】中高年齢者が培ってきた知識、経験、技術等を活かして、生産、加工又はサービス提供を行うことにより、健康・生きがいづくり又は地域づくりに寄与することのできる事業 対 中高年齢者(概ね50歳以上の者)で構成された10名以上のグループ 金 助成対象経費の5分の4以内で限度額200万円
【地域活動支援事業】中高年齢者が独自で又は地域住民と協働して、地域での社会参加活動やボランティア活動等を行うことにより、健康・生きがいづくり又は地域づくりに寄与することのできる活動 対 代表者を含む過半数が中高年齢者で構成された10名以上のグループ 金 助成対象経費の5分の4以内で限度額100万円

問 社会福祉法人 島根県社会福祉協議会 地域福祉部長寿社会振興係

Tel:0852-32-5981 URL:http://www.shimane-yume-factory.jp/



イベント情報

第2回さんさん講演会
「自閉症スペクトラムへの支援
~思春期~」
日 9/8 (日) 10:00~16:00

誰もが必ず迎える思春期。環境の変化とともに、体の変化・心の変化も訪れます。思春期に起きやすい問題について考え、思春期を見据えて学んでおくべきこと、思春期に学習しておくべき大切なことについて、みなさんと共に学ぶ機会にしていきたいと考えています。

場 出雲市立平田図書館2階視聴覚ホール 費 2,000円 定 100名

問 認定NPO法人療育センター燦々 E-mail:npo-sansan1@mocha.ocn.ne.jp

「地域における子どもの参加
と社会性の形成—子どもにやさしいまちづくりを求めて」
日 9/8 (日) 13:30~15:30

地域で子どもの役割や出番をもっと増やしてみませんか!しまね子どもセンターは、子どもの育ちを応援する「社会参加(子どもに生き抜く力をつけること)事業」を進めています。地域は、子どもが育つベースです。子どもの社会性を育み、子どもの力を活かした「地域づくり・まちづくり」を考えます。

講師:喜多明人さん(早稲田大学文化芸術院教授)

場 島根県民会館303会議室 費 1,000円(保険・資料代含む) 定 80名

問 NPO法人しまね子どもセンター Tel:0854-82-5111

第31回 地域づくり団体
全国研修交流会 福井大会
日 11/16 (土)・17 (日)

全国各地で活動する地域づくり団体のつながりを深めるとともに、地域住民による主体的な活動の活性化を推進することを目的とした大会です。今年福井県で「幸福度No.1日本のまんなか福井から地域力発信~「越山若水」歴史・自然と食が織りなすふるさとづくり~」をテーマに、地域づくりのいろいろな課題について議論と交流を深めます。

場 全体会:あわら温泉グランディア芳泉 分科会:県内13会場 費 7,000円

問 (公財)ふるさと島根定住財団 地域活動支援課 Tel:0852-28-0690

URL:http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp/



募集情報

2013年度子どもたちの
“こころを育む活動”事例
期 ~9/30 (月)

未来を担う子どもたちの“こころを育む活動”に献身、努力されている団体の活動事例を募集します。

金 全国大賞1件:100万円、優秀賞数件:30万円

問 「こころを育む総合フォーラム」全国運動事務局 Tel:03-5521-6100

URL:http://www.kokoro-forum.jp/

さくらおろち湖の里山ボラン
ティア「柿をめぐる男たちのロ
マン」
日 10/19 (土) 10:00~15:00

斐伊川上流域の里山の暮らしの文化、その貴重な財産を引き継いでいこうとする体験学習型のボランティアを大募集します。全6回のうち第3回目の今回は、柿の収穫体験と地域の取り組みをじっくり伺います。

場 奥出雲町三沢地区 費 1,000円(昼食代) 定 35名

問 NPO法人さくらおろち Tel:0854-48-0729

NPO法人もりふれ倶楽部 Tel:0852-66-3586

※アイコンの説明

日 日にち 時 時間 場 場所 定 定員 費 費用 主 主催 期 期日 金 助成金額 対 対象 問 問合せ先

お知らせ

島根県新しい公共支援事業成果報告会

“つながり”“絆”で支え合う 地域づくりフォーラム ～地域課題解決のヒントを探る～

地域課題が多様化し、県民や企業、NPO等が連携し、自ら課題解決にあたる「新しい公共」の役割が重要になっています。H23年から2年間にわたり、新しい公共の担い手として県内の13団体がモデル事業に参加し、地域の課題解決や活性化に取り組んできました。このフォーラムは、その成果と今後の課題を紹介し、一人ひとりが地域のサポーターとして、何ができるのかを一緒に考える機会をつくることを目的に、開催するものです。

■日時 9月8日(日) 13:00～16:40

■会場 くにびきメッセ国際会議場

■定員 400名(入場無料)

■内容

*ポスターセッション

*基調講演

堀尾 正明 氏(フリーアナウンサー)

演題「ご近所パワーは、コミュニケーションから!

～地域の底力 つながって、支え合うまちづくり～

*よしととひうたミニライブ

*パネルディスカッション

「地域の困りごとをみんなで解決する仕組みをつくる!」

■お問い合わせ

山陰中央新報社地域振興局開発部「地域づくりフォーラム係」

TEL 0852-32-3368



報告

しまね田舎ツーリズム

県民フォーラム 開催



しまね田舎ツーリズム県民フォーラムが6月29、30の両日、鹿足郡吉賀町柿木村のエコビレッジかきのきむらと柿木ふれあい会館で開催されました。民泊実践者や行政関係者、田舎ツーリズムに関心のある県民ら約120人が参加。田舎ツーリズムの県内先進事例の報告や、「民泊は定住のインフォメーションセンター」、「子どもに田舎体験を」などをテーマとする4つの分科会、熊本で農家レストランを運営する本田節さんによる基調講演などが行われました。田舎ツーリズムの8年間にわたる歩みを振り返りながら今後の取り組みを展望し、それぞれの立場から活発に意見を交換しました。

安来で研修会 実施



しまね田舎ツーリズム今年度第1回県内研修会「どじょう

の里に来て、見て、感じて!」

が8月3日、安来市広瀬町西谷の西谷交流センターなどで開かれました。県内最大のどじょう養殖エリアにあたる西谷地区。今回の研修会には県内外から約60人が参加し、養殖池でのどじょうつかみやえさやり体験、どじょう養殖に関する講演などが行われました。どじょうを育む山里での体験プログラムを通し、交流の輪が広がりました。

※9月29日には江津市で「綿」をテーマにした研修会を予定しています。皆さんのご参加をお待ちしています!詳しくは定住財団HPやチラシをご覧ください。

数字から見るしまねの課題

Vol.2

全国3位

65歳以上の高齢者がいる世帯の割合(2010年)

50.45% (2世帯に1世帯)

65歳以上の高齢夫婦もしくは高齢単身世帯の割合

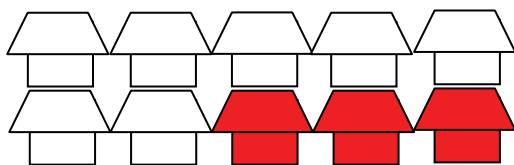
(2010年現在)

(2030年予想)

22.52%



28.61%



10世帯に3世帯は高齢者のみの世帯に。

地域と高齢者世帯

2010年現在、島根県内における65歳以上の高齢者がいる世帯の割合は50.45%で全国3位。2世帯に1世帯が高齢者と一緒に暮らしています。

また、「高齢者のみの世帯」や「高齢単身世帯」も増加傾向にあり、病気や怪我、災害時など緊急事態における社会的リスクの軽減や、介護が必要となった場合のケアなど、世帯を超えて地域で支えあう仕組みをつくることが求められています。

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療、介護、健康、住まい、生活など様々なサービスが切れ目なく、一体的に提供されるためには、地域における多様な担い手による連携が不可欠です。

参考資料:総務省統計局「社会生活統計指標-2010-」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計」

『島根で頑張る人』は県内で活動する人にスポットを当て、考え方や経験から団体活動に迫るコーナーです。スタッフの「学び」も兼ねて取材させていただいています。

島根で 頑張る人

子どもたちの「生の声」で、 社会を変えたい

携帯メールや SNS など、インターネットでやりとりするツールが多く存在するようになり、電話で話すことを求める子どもは減っているだろうと、高山さんの話を聞くまではそう思っていた。しかし、全国のチャイルドラインにかかってくる件数は、年間約80万件。ここ1年間で約2万件も増加しているという。電話の内容は、いじめ等の深刻なものから、「100点取ったよ」「給食が時間内に食べれたんだ」のようなちょっと聞いてほしい話も少なくないという。家に戻れば当然のように居てくれた親や祖父母、兄弟姉妹、近所の人など、今日あった出来事をすぐに伝えることができる人が周りにいないのだ。

いじめ、虐待、体罰など、様々な問題が周囲を取り巻き、今を生きる子どもたちにとって生きづらい社会だと言われる。電話では、延々と怒りをぶつけてくる子や、追いつめられた状況の下で子どもが電話をかけ、より大きな問題が起きる前に食い止めた事例もある

という。受け手にとっても、聞くことは大きなエネルギーを必要とする。しかし、「聞いてくれてありがとう」「この間の悩み、解決できたよ」という子どもたちの声が、次の電話を受ける原動力になっている。「声」を通じて直接やり取りをすることは、メールとは別の、大きな意味があるのだ。

高山さんには、活動を続ける中でずっと抱えている疑問がある。「今の子育てや教育は、本来あるべき姿なのだろうか。大人が描く理想の子ども像を押しつけてはいないだろうか。子どもたちの一人一人が持っている力を大切に育てているといえるのだろうか・・・」と。

当事者の生の声に応じて社会を変えていくところ、NPO の大きな役割。長年子どもたちの想いを電話によって受け止める活動を続けてきた高山さんもまた、その役割を果たそうとしている。それは、子どもたちの声を社会に届け、子どもたちが自分らしく生きていける世の中にするのだ。(Y)



県内の全小・中・高校を通じて年2回子どもたちにチャイルドラインのカードを届けている



NPO法人チャイルドラインしまね 理事長 高山 幸子 さん

愛媛県出身。ご主人の就職がきっかけで島根へ移り住む。子育て中に、子育て支援や子ども支援の団体の活動に関わるようになる。チャイルドラインしまねの養成講座第一期生。NPO 法人としての独立時に理事を受け、現在に至る。

団体の今までの主な活動

H15年に初めての受け手養成講座を「しまね子どもセンター」の活動として実施。翌年、18歳までの子ども専用電話「チャイルドライン」を開設。H19年に「NPO 法人チャイルドラインしまね」として独立。現在は第1・2・4土曜日、第3火曜日に子どもを対象とした電話相談を行う。また、毎年受け手養成講座を開催し「受け手」のボランティアを育成している。

スタッフ後記

7月28日に発生した大雨災害により被害にあわれた皆様に、心からお見舞い申し上げます。島根県において被害が大きかった津和野町では、役場の職員の方々が Facebook を通じて情報発信をしています。被害が少なかった観光のメインとなる地域では、通常通りの運営をしているようです。また、被災された津和野町の方々への義捐金の募集も始まっています（詳細は島根県のホームページに掲載されています）。最新の情報を随時確認しながら、自分にできることを考え、行動していきたいものです。(Y)

お知らせ NPO作成「共感CM」を上映します！

9/14(土)に松江市市民活動センター(松江市白湯本町43番地スティックビル)で開催される「市民活動フェスタ2013」において、NPOの皆さんが作成された「共感CM」の上映を行い、共感したCMに対して来場者の方々に投票していただきます。ぜひご来場ください！！

【H25.7.31 現在】

- 県内NPO法人数・・・261
(内 認定NPO法人数・・・4、仮認定NPO法人数・・・3)
- 新設NPO法人数・・・0 (H25.7月分)
- しまね社会貢献基金登録団体数・・・54
- だんだん認証レベル取得団体数・・・39 (内 レベル2・・・24)

松江
事務局

〒690-0003
松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
TEL (0852)28-0690 FAX (0852) 28-0692
E-mail: shimane@teiju.or.jp

石見
事務所

〒697-0034
浜田市相生町 1391-8 シティパルク浜田2階
石見産業支援センター「いわみびらっと」内
TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630
E-mail: iwami@teiju.or.jp